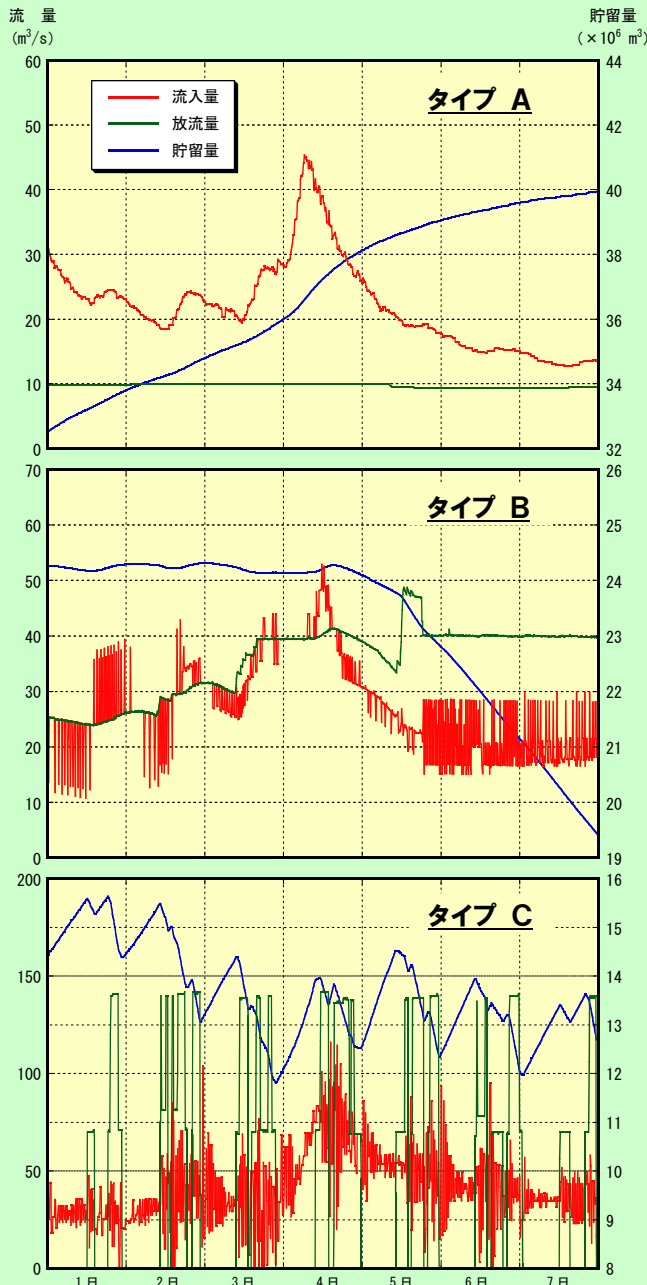




貯水池への流入量に大きなバラツキがでていませんか？

これらは、国土交通省河川局のホームページに掲載された10分毎のダム諸量データ(7日分、ただし暫定値)について、その特徴を顕著に示す事例をグラフ化したものです。



タイプ A

この期間適切な演算処理が行われている事例
(75 ダムのうち 18 ダムがこのタイプに属します。)



タイプ B

流入量にパルス状の誤差が発生する事例
(75 ダムのうち 43 ダムがこのような性状を示します。)



水位計の読みの丸め誤差に対する処理方法を提案

タイプ C

貯水面に生じる波浪に対する平滑化処理が十分でない事例 (75 ダムのうち 36 ダムがこのような振動を示します。)



精度の高い平滑化手法*を提案

*最適化した重みを課した移動平均法は、アイ・エヌ・エーが技術開発し実用化した新しい平滑化の手法です。



ゲート操作を円滑に行うためには、タイプ A に属するダム流入量を知る必要があります。アイ・エヌ・エーでは、タイプ A のようなダム流入量を得られるようあなたのダムに最適な演算処理の方法をご提案いたします。